

【事例紹介】回復期病棟→訪問リハ→卒業

回復期リハビリ病棟入院中に「退院後の外出について自信がない」と本人から不安の声が聞かれた為、ケアマネジャーと相談し、退院後から訪問リハビリの利用が開始となりました。訪問リハビリでは主に退院後の生活の整備や自主練習指導、外出練習で関わりました。ケアマネジャーも手作りの外出届を作成してくれて、徐々に外出にも自信がついていきました。退院後5か月後に「1人でも、サ高住の友人とも、買い物に行けました！訪問リハビリ卒業します！」と、本人より訪問リハビリの卒業宣言を頂くことができました。卒業から1か月後に訪問した際も社会参加が継続できております。多職種協働で「やりたい！」を実現させる取り組みも当院の訪問リハビリでは積極的に行っています。



訪問リハビリの
卒業証書授与

スーパーへの外出練習



※写真掲載の許可を頂いております。

豊田えいせい病院
リハビリ新聞



2019年
8月25日
第4号

在宅復帰率が高い医療療養病床

一般的に医療療養病床は、慢性期の状態で、医療処置が必要な方が医療保険で長期療養を目的に入院する病床です。

しかし、当院の医療療養病床は在宅からの緊急入院も積極的に受け入れており、H30年度実績では、平均で月に34人が入院し、30人が退院しており、年間通しての**在宅復帰率は40.7%**となっています。医療療養病床に理学療法士、作業療法士、言語聴覚士も合計14名所属しており、医師や看護師、介護福祉士、歯科衛生士、管理栄養士等が、患者さんが望む暮らしの実現に向けて関わらせて頂いております。

入院しても元気になって退院していただけるよう日々励んでいきたいと思っております。



医療療養病床でのリハビリの様子

診療技術部 職員の紹介

通所リハビリ科
主任
伊藤名奈子(介護福祉士)



当院に勤めて14年。色々な経験をさせて頂きまた職員に恵まれこまでく事ができていると感じます。そんな中で利用者さんを見て想う事『あなたの望む姿は？』その望む姿に少しでも近付ける事が私達の役割だと思っています。

私自身、訪問リハビリの経験が8年目となりました。短期的なりハビリ専門職の視点は生活期では非常に有効です。少しでも現実から理想へ近づける関わりを意識し、これからも本当に必要な人に訪問リハビリが届くように、適宜適切なサービス提供を心掛け地域貢献をしていきたいと思っております。

訪問リハビリ科
主任
杉浦良介(理学療法士)



豊田「えいせい」病院の想い

清潔で**衛生的**な病院の実現

患者さまの**永世**(長生き)を願い支援する

衛星のように地域の医療ネットワークと密接に連携する
といった当院の想いが込められています。

豊田えいせい病院 診療技術部

回復期リハビリ科 TEL : 0538-34-6123 FAX : 0538-34-6231

療養リハビリ科 回復期リハビリ科と共通

通所リハビリ科 TEL : 0538-34-6223 FAX : 0538-34-6222

訪問リハビリ科 TEL : 0538-34-6137 FAX : 0538-34-6231